Ⅱ 市民参加事業

平成23年３月に公表した「戦略ビジョン策定の基本的考え方」において、従来の行政計画から、市民と共有できる札幌市の将来ビジョンへの質的な転換を図ることを目的とし、策定過程においては、有識者や専門家等で構成された審議会での議論に加え、市民会議をはじめとする重層的な市民参加のステージを設け、幅広い世代・属性の市民参加を目指すなど、「市民とともに作る」という策定プロセスを重視することとしました。

策定に当たっては、市民アンケートなどで札幌の魅力と課題についての調査を実施したほか、様々な手法を用いた各種ワークショップの開催、将来の札幌市の目指すべき姿やまちづくりの目標などについて検討を行う市民会議の実施など、市民参加の取組を積極的に進めてきました。

これらの取組を通していただいたご意見は、札幌市まちづくり戦略ビジョン<ビジョン編>に反映させています。

市民参加事業の概要

	事　業	参加者数	概　　要
1	市民アンケート 【H23. 6月】	2,723 件	札幌の魅力や、社会経済情勢の変化に伴う課題への取組などに関するアンケートを実施
	道外アンケート 【H23. 6月】	1,087 件	「外から見た札幌」の視点をビジョンに反映させるため、市民アンケートと同様の設問により、インターネットアンケートを実施
2	将来の札幌を考える 市民会議 【H23.7～9月(計6回)】	市民会議委員 29 人	将来の札幌市の目指すべき姿やまちづくりの目標などについて、ワークショップ形式で検討し、会議の成果は、審議会および市長へ報告
3	さっぽろ 1000 人 ワールドカフェ 【H23. 7月】	440 人	「ワールドカフェ」という話し合いの手法を用いて、札幌の魅力や将来像について、楽しく気軽に語り合う大規模ワークショップを開催
4	みんなでつくる 「さっぽろ未来カフェ」 プロジェクト 【H23. 9月～】	10 団体 (12 回) 443 人	市民の皆さんが、仲間やグループなど様々な集まりで自発的に「札幌の未来を語る場(ワールドカフェ)」を開催し、そこで話し合った内容を札幌市に報告してもらうことにより、市民意見をビジョン策定の議論に反映
5	テーマ別ワークショップ 【H23.10 月】	68 人	「市民アンケート」で重要度の高かった4テーマ（高齢化社会、防災、子ども、環境）について、札幌市の取組に対する成果と課題について議論した上で、今後重点を置くべき取組を提案 ※行政評価制度への市民参加の促進を目的とした「市民評価」の取組と一体的に実施

	事　業	参加者数	概　　要
6	まち「つながる」 ワークショップ 【H24. 3月】	228 人	市民一人一人と地域やまちのつながり、これからの時代に合った「つながり」の形について考えるワークショップを市内10区で開催
7	さっぽろ未来カフェ in 東京 【H24. 1月】	36 人	「外から見た札幌の魅力」や、札幌が今後どのようなまちを目指すべきかについて、ワールドカフェ形式で意見交換
8	国際都市さっぽろ ワールドカフェ 【H24. 6月】	100 人 （外国籍市民 36 人を含む）	国際都市とはどのような都市か、札幌が国際都市を目指す上でのヒントなどについて、外国籍市民と日本人市民が一緒にワールドカフェ形式で意見交換 ※「さっぽろ国際戦略プラン」策定の市民参加事業と一体的に実施
9	こどものまち 「ミニさっぽろ 2011」 【H23.10 月】	315 人	「ミニさっぽろまちづくりセンター」としてブース出展し、子どもたちが「さっぽろプロデューサー」として、現在のさっぽろのプロフィールシートと、10年後の札幌がどんなまちになってほしいかのフレーズを作成
10	国際交流ワールドカフェ 【H24. 2月】	59 人	海外のまちと札幌の比較などを踏まえ、国際都市札幌の未来について意見交換 ※同時期に札幌市内でホームステイしていた、アメリカ・ポートランド市グラント高校の生徒５人も参加
11	子ども議会 【H24. 1月】	55 人	「10年後の理想の札幌」についてキャッチフレーズを発表し、市長等と今後のまちづくりなどについて意見交換
12	「児童会館・ミニ児童会館」における子どもの意見聴取 【H24. 3～5月】	1,757 人	「10年後の理想の札幌」について、「こうあってほしい」と思うまちの姿を話し合い、みんなで考えた「理想のまち」に向けて自分たちで出来ることを検討 ※市内全児童会館・ミニ児童会館（173 館）で実施

1　市民アンケート、道外アンケート

戦略ビジョン策定に当たっての検討材料として、主に「札幌の魅力」と「札幌の課題」について、①札幌市民、②道外在住の札幌居住経験者の評価・意見を得ることを目的としたアンケート調査を実施しました。

(1)　対象・回答数

項　目	対　象	手　法	回答数
札幌市民アンケート調査	無作為抽出による18歳以上の男女10,000人	郵送アンケート	2,723人
道外の札幌居住経験者アンケート調査	道外在住で、札幌居住経験のある16歳以上の男女1,515人	インターネットアンケート	1,087人

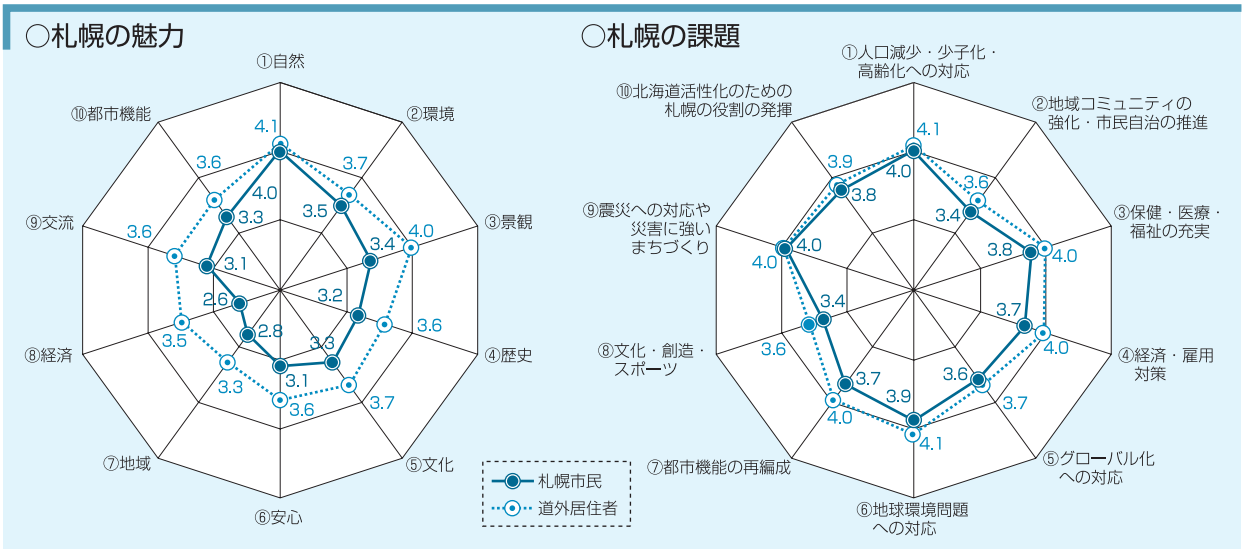
(2)　実施概要

調査項目	内　容
札幌の魅力	下記10分類ごとに5つの評価項目（詳細項目）を設け、それぞれの魅力度を5段階で聞いた。 ＜魅力10分類＞ ①自然　②環境　③景観　④歴史　⑤文化　⑥安心 ⑦地域　⑧経済　⑨交流　⑩都市機能
札幌の課題	下記10分類ごとに5つの評価項目（詳細項目）を設け、それぞれの重要度を5段階で聞いた。 ＜課題10分類＞ ①少子高齢化　②市民自治　③保健・医療・福祉 ④経済・雇用　⑤グローバル化　⑥地球環境問題 ⑦都市機能　⑧文化・スポーツ　⑨防災　⑩北海道活性化
その他	「札幌のイメージ（良いところ）」、「理想の札幌（キーワードなど）」について自由記述式の設問を設けた。

(3)　調査結果の概要

ア　札幌の魅力と課題

10分類すべてにおいて、市民よりも道外在住者の評価や課題認識が上回った。

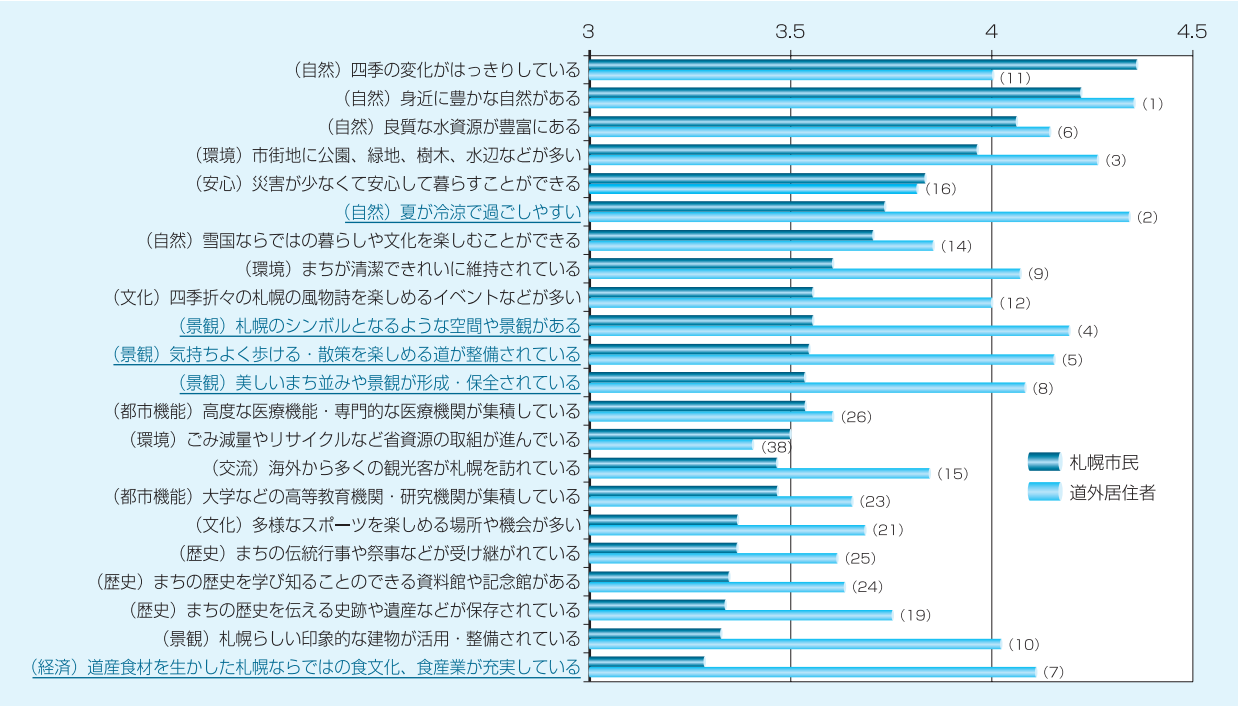


イ　札幌の魅力ランキング

◆市民、道外在住者共に認める札幌の魅力

「自然」：身近に豊かな自然がある、良質な水資源が豊富にある

「環境」：市街地に公園、緑地、樹木、水辺などが多い



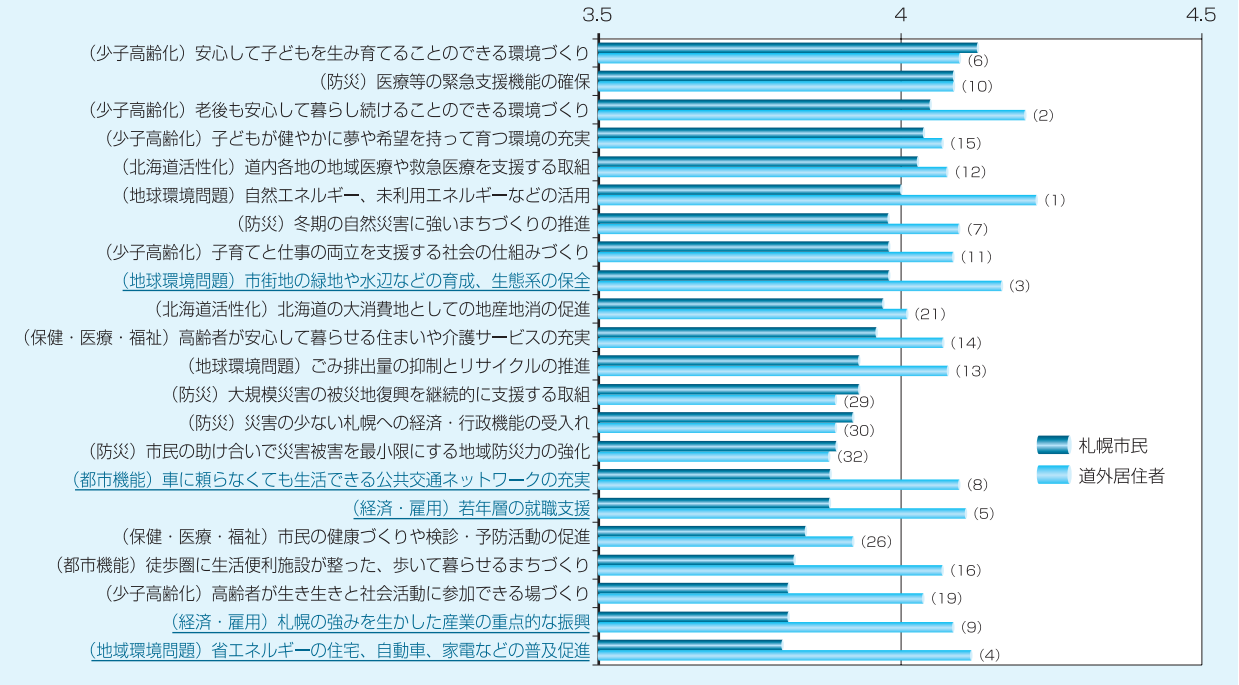
ウ　札幌の課題ランキング

◆市民、道外在住者共に認める重要課題

「少子高齢化」：安心して子どもを生み育てることのできる環境づくり

老後も安心して暮らし続けることのできる環境づくり

「地球環境問題」：自然エネルギー、未利用エネルギーなどの活用



※下線のある項目は、市民より道外在住者の評価や認識が高い主な項目。グラフ内のかっこ書きは道外在住者における順位。

2　将来の札幌を考える市民会議

市民の皆さんの目線で、将来の札幌市の目指すべき姿やまちづくりの目標などについて、３か月間、延べ６回にわたってワークショップ形式で検討を行い、平成23年10月24日に検討結果を市長に報告しました。

⑴　委員の構成

前述の市民アンケートにおいて、市民会議への参加を希望された264人の中から、性別、年代、住所のバランスを考慮して選出した29人で構成

⑵　開催期間と実施概要

回	日時・会場	内　　容
第１回	平成23年 7月10日（日） 13:00～16:30 札幌すみれホテル ３階ヴィオレ	**◆札幌市からの情報提供** ○戦略ビジョンとは何か、市民会議の役割と進め方 ○札幌の現状と課題、これからのまちづくりの視点 **◆グループディスカッション「札幌の強み（魅力）と弱み（課題）」** ○日頃、札幌で暮らして感じている、今後伸ばすべき魅力と札幌の課題や改善点について議論
第２回	7月23日（土） 10:00～15:30 STV北２条ビル ６階会議室	**■午前の部 ～札幌の中期的なまちづくり～** **◆札幌市からの情報提供** ○札幌市の中期的なまちづくりの計画である「第３次新まちづくり計画」について、計画の位置づけや戦略ビジョンとの関係性、政策目標や重点課題など **◆グループディスカッション「テーマ別の課題と取組」** ○「第３次新まちづくり計画」の【暮らし】、【子ども】、【活力】、【環境】、【自治と文化】の５つの視点について、現状の課題と問題解決に向けたまちづくりのアイディアについて議論 **■午後の部 ～市民自治を進める上での市民と市役所の役割～** **◆札幌市からの情報提供** ○市民自治を進める上での市民と市役所の役割分担の考え方や、市役所が進めてきた取組について、さらに「新しい公共」の取組としてまちづくりセンターの役割など **◆グループディスカッション「よりよい札幌のまちづくり・住環境づくりのためにできること」** ○午前の部で議論したアイディアに対し、「市民・地域・企業に出来ること」、「市民、地域、企業の取組に対して行政に必要とされる役割や機能」について議論

回	日時・会場	内　　容
第３回	8月6日（土） 13:00～16:00 ホテルニューオータニイン札幌2階 北斗の間	**◆札幌市からの情報提供** ○アンケート（市民・道外居住者）の結果 **◆グループディスカション「これからのまちづくりのテーマ」** ○札幌の今後 10 年間のまちづくりを支える「柱」づくりに向けたテーマとキーワードについて議論
第４回	8月20日（土） 13:00～16:00 STV北２条ビル ６階会議室	**◆グループディスカッション「札幌の今後の 10 年間の取組を支えるまちづくりの『柱』立て」** ○前回までの議論に基づき整理された５つのテーマ「暮らし・コミュニティ」、「経済･人材」、「自然･環境」、「文化･創造性」、「発信力・独自性」について、まちづくりの考え方と取組の方針となる視点、具体的な取組のアイディアについて議論
第５回	9月10日（土） 13:00～16:00 STV北２条ビル ６階会議室	**◆グループディスカッション「市民会議による検討報告案の内容検証」** ○前回までの検討内容を踏まえ、事務局が作成した報告案について内容を検証し、最終的な取りまとめの方向性を確認
第６回	9月23日（金･祝） 13:00～16:00 STV北２条ビル ６階会議室	**◆報告案の最終確認** ○５つのまちづくりの柱と取組方針、まちを育てるための取組の内容を精査し、「市民会議からの報告」最終案を取りまとめ **◆グループディスカッション「札幌の将来像を考える」** ○前回までの検討内容を踏まえ、これからの札幌が目指すまちづくりの方向性を示す「将来像」について議論
市　長 報告会	10月24日（月） 16:30～17:00	**「将来の札幌を考える市民会議」における成果を市長へ報告**







(3) 市民会議意見取りまとめ

札幌のまちの将来像　　いいっしょ！一緒に　～支え愛のまちさっぽろ～

1 ＜暮らし・コミュニティ＞ 全ての市民が見守り支え合う、暮らし・地域づくり

安全・安心な暮らしを守る生活環境づくり
○危機管理の出来るコミュニティづくり
○私たちが考え、行動する安全・安心なまち
○快適・安心な生活を支えるコンパクトなまち

多様な世代が交流し、共生する地域の大家族づくり
○子どもと高齢者の交流による多世代が共生する地域コミュニティづくり
○地域の誰もが声を掛け合える共生の地域づくり
○札幌に住み続ける環境を支える施設や地縁、コミュニティ等のきずなづくり
○まちの情報が伝わる場としてのコミュニティサロンやカフェ、レストランづくり

高齢者、子どもが元気に暮らせる環境づくり
○高齢者が元気に働ける・活躍できる福祉の充実
○女性が積極的に社会に参加し活動できる子育て支援の強化
○誰もが安全安心に暮らせるユニバーサルデザインのまちづくり

全ての市民が関わる地域のまちづくり
○住民がまちづくりセンターを知り、もっと上手に使う
○言うべきことを言える場づくり
○気軽に参加できる町内会づくり
○地域の有償ボランティアによるまちづくりの推進
○市民会議のように市民が語り合う ALL さっぽろプロジェクト

2 ＜経済・人材＞ 『食・観光・人』の素材を徹底的に活かした産業づくり

魅力的な産業基盤の育成
○外貨を呼び込む産業育成
○魅力的な産業を育てる
○札幌の核となる企業の育成
○行政による産業支援・育成・活用
○観光客が買いたくなる加工品の魅力・付加価値の向上

札幌の素質を鍛える観光の育成
○札幌の豊かな自然資源を生かした観光の推進
○ストーリーの見える観光ルートづくり（歴史など）
○郊外の観光資源などをもっと楽しめる着地型の観光ルートづくり
○車に頼らず楽しめるルートづくり（定期観光バスなど）
○食と公共交通を連動し、ターゲット層ごとに発信する観光情報の充実
○リピーターを増やす活動の推進

北海道・札幌の豊かな資源を活かした『食』の産業強化
○まちなかの『北海道の食のショーケース』づくり（加工料理市場）
○市内の農地増加による農業の拡大
○一次加工産業の強化と海外への流通の強化
○冷凍技術等を活かしたアジアへの加工品の輸出
○自然を活かした産業・商業の創造・展開

北海道・札幌を発信し、活力を創出する人材の育成
○北海道をPRできる人材の育成
○若い世代が世界（外）に出て成長する仕組みづくり（地元に戻る条件の奨学金制度など）
○起業したい人を札幌に呼び込み応援する
○新しいことをやろうとする人を応援する「チャレンジできるまち」づくり
○企業による、将来の札幌経済を支える人材となる学生の教育の推進

3 ＜自然・環境＞ 自然と都市が共生する『緑』と『白』のまちづくり

自然を活かすまちづくり
○市全体として、札幌の特色を活かした自然特区の指定を目指す
○公園管理・運営の民間委託（雇用創出・自然活用）
○自然に触れたくなる整備（公園・観光資源）の推進

再生可能エネルギーを活かした安全安心なまちづくり
○小河川ダム、小風力、太陽光、地熱など、自然を活かしたエネルギーの導入
○積雪寒冷地の特性を活かした雪のエネルギー資源としての有効利用
○原子力や化石燃料に頼らない再生可能なエネルギーを活用した省エネルギーなまちを目指す

自然・みどりを増やすまちづくり
○都市型自然環境づくり・河川・緑地帯の形成
○市民による市民の森づくり「毎年1本植樹」
○自然を大切にする環境教育・ふれあい学習の推進
○都心縁辺のグリーンベルト帯の創出
○人工物を活かしながら自然を再生する取組の推進

世界に誇れる環境に配慮したまちづくり
○世界でもいち早く CO_2 抑制ができる街の実現
○日本で一番住みたいまちから世界で一番住みたいまちを目指す
○環境会議の誘致
○エコカー・公共交通の利用促進（料金の値下げ）
○自転車道路の増設

4　＜文化・創造＞　市民が学び育てる『さっぽろ文化』づくり

創造性を育むきっかけづくり
○アイディアを実現・広げていく環境・機会の提供
○資源を活かした個性の育成（近隣の自然や産物等）
○人材の輩出（芸術・学問）
○子どもの頃から可能性を引き出すきっかけづくり
○子どもの市民会議を開催する

さっぽろを知る・さっぽろから学ぶ教育
○自分の住んでいる地域（足元）を見つめ直す
○札幌の過去・歴史を学ぶ教育機会の普及・展開
○食育等の取組を通じた北海道・札幌を支える農業を学ぶ機会の提供

さっぽろ発のアート・カルチャーの発信
○さっぽろの木である「ライラック」をもっと前面に押し出す、活用する
○ファッションと食をテーマにした新たなさっぽろ文化づくり
○パティシエの世界大会など特色ある食文化の創造
○食文化と芸術文化のつながりづくり
○雪まつりと連動した地域イベント（雪灯り・キャンドル祭りなど）
○地下道などの空間をアート発表の場にする

北海道の中心地としての札幌の食文化づくり
○道産食材を活用した北海道・札幌の食文化づくり
○北海道の豊かな資源の価値を再確認し、伸ばす地産地消の促進
○道産食材を発信できる人材育成プログラムづくり
○「おもてなし」の環境（心、お店など）を整えるプロジェクトの推進

5　＜発信力・独自性＞　市民の気づきを通じて内側から湧き出すまちの魅力づくり

市民が生活を通じて楽しみ、育て、発信する札幌ブランドづくり
○ムリな発信に頼らず、自然と広まる『札幌の良さ』を今ある資源から育てていく、高めていく
○現在の札幌の資源・環境の良さ・価値への気づき・再確認を促す
○生活の中で札幌の良さに触れ、楽しむことができる機会を生み出す
○「札幌ブランド」など、資源・価値を再認識し、共有するきっかけとして、『地域資源認定制度』を創設する

北海道の良さが札幌から広がる資源の積極的な活用
○道産食材の活用・安価に利用できる仕組みづくり
○資源の活用を通じた北海道全体の活性化

札幌の良さが広がる仕組みづくり
○戦略的なPRのためのプロジェクトチームづくり
○企業とのタイアップと市のバックアップ
○札幌を良く知る人材が世界に札幌を発信し、もっと世界の人に札幌に来てもらう

市民が札幌を理解する教育機会の提供
○市民が札幌をより学ぶことで発信力を高め、街の質を高める
○市民が札幌の資源を理解する場・機会の創出
○文化を学び、発信できる教育機関の設置
○教育を通じて札幌市の内側を強化する

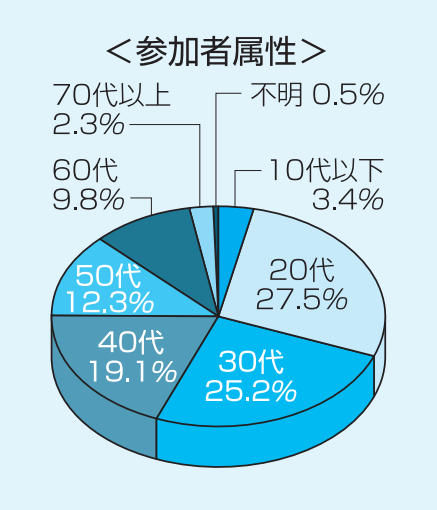






3　さっぽろ1000人ワールドカフェ

市民一人一人がまちの未来を考えるきっかけにするとともに、札幌の将来像の検討素材とするため、最近全国的にも注目を集めている「ワールドカフェ」という話し合いの手法を用いた、誰でも気軽に参加できる大規模ワークショップを開催し、札幌の魅力を探り、参加者が望む札幌の将来像について語り合いました。



(1)　日時・会場

平成23年7月18日（月・祝）　13時00分～16時30分
ロイトン札幌3階　ロイトンホール

(2)　参加者数

440人
＜参加者属性＞　小学生～70代以上の幅広い年代から参加
特に30代以下の若い世代が半数以上

(3)　プログラム

【第1部】　13時30分～13時45分
トークセッション　＜テーマ：「そと」に誇っていきたいさっぽろ＞
ゲストスピーカーと上田文雄札幌市長により、ワールドカフェ風のトークセッションを行いました。

○ゲストスピーカー

麻生　栄一さん	㈱インデックス・コア代表取締役、札幌国際短編映画祭実行委員
小山内　美香さん	コミュニケーションデザイナー、元「札幌 100 マイル」編集長
竹本　アイラさん	主婦ネットワーク MaM-CaN 代表
ロス・フィンドレーさん	NAC ニセコアドベンチャーセンター代表取締役

○トークセッションでの主な発言抜粋

麻生　栄一さん	札幌にはいい意味で「しばり」がないように感じるし、「まち」というより「国」というイメージな気がする。国内のどこかの街を目指すというよりも、世界中のいろんな街とお近づきになったり、比較されるべき街になっている気がする。苗字は札幌です、というくらいの勢いで独立心旺盛な市民でありたい。より多くのヒトと話せる場がいっぱいあるともっと良くなる気がする。
小山内　美香さん	すごく都会でありながら、いい意味で「田舎」。何かやろうとか、何か頑張るとすぐにヒトに伝わるし、声をあげたら、ヒトが集まる環境がある。世界が狭いということが札幌では、他に誇れるところだと思う。
竹本　アイラさん	札幌にずっといるヒトは意外と気づいていないかもしれないが、北海道の地方都市から比べたらもう「大都会」。なのに、子どもたちにとっても非常に安全な街だと感じる。そしてヒトとヒトのつながりが近い。これは東京や大阪にはない魅力だと思う。
ロス・フィンドレーさん	リゾート地ニセコで多くの外国からの観光客がリラックスしてくれるが、札幌は～こんなに都会なのに～も関わらず、遊びも自然も身近にあってヒトをリラックスさせるポテンシャルをもった街。スキー場ひとつとってもこんなにすばらしいスキー場が近い街は世界にもそうそうない。
上田　文雄札幌市長	世界に雪が降る街はいっぱいあるが、雪まつりやウィンタースポーツで札幌は雪を克服してきた。克服する中でヒトとヒトとがつながるマインドが生まれた。「雪が降ったらあたたかい」と思えるヒトのつながりやキモチを大事にできるまちづくりを目指したい。

【第２部】 13時45分～16時30分

ワールドカフェ

４～５人のテーブルごとに、メンバーを入れ替えながらテーマに沿って話し合いを行いました。

ゲストスピーカー４人と上田市長も参加者のテーブルに交じって一緒に話し合いました。

○話し合いの流れ

①札幌に住んでいて、来てみて、良かったと思うことは何ですか？

↓（席替え）

②他にはない、さっぽろ“らしさ”とは何でしょうか？

↓（席替え）

③さっぽろ“らしさ”にどのような可能性を感じますか？

↓（最初のテーブルに戻り、各自付箋に書き出し）



④わたしたちが望む、これからの“さっぽろ”はどんなまちですか？

↓（話し合った結果をまとめ用紙に書き出し）

全体共有　テーブルごとに書き出した「わたしたちが望む、これからの“さっぽろ”」を、参加者が自由に見て回り、意見を共有しました。

⑷ 主な意見「わたしたちが望む、これからの“さっぽろ”」

テーマ	意見（抜粋）
創造性、暮らし	○クリエイティブなまち　○市民が自らのやりたい事を実現できる街　○スタイルを持って発展する街 ○東京・大阪ではなく世界を意識した街づくりへ!　○夢がかなうまち　○失敗していいまち ○金はなくても、市民一人一人がアイデアによって解決していけるまち　○心豊かに暮らせる街
地域	○あったかい街　○人とつながる優しい街　○多文化共生 ○世代、障がいの有無、国籍等、関係なく共生できるまち ○地域でのコミュニケーション作りができる街　○あいさつ、Smile、対話のある街
経済	○経済がうるおう街（観光・リゾート）　○商売上手なさっぽろ　○すすきのの活性化! ○外貨を稼ぐ街　○企業誘致（海外も）　○観光サービスのレベルアップ　○地産地消 ○スイーツに力　○世界中の人々が集まってきて、街を活性化させる ○優秀な人材がもどってきやすい街　○女性がメインのまちづくり
子ども・若者	○子育てがしやすい街　○未来や子どもたちにもよりよいまちを　○子ども目線にたったまちづくり ○子どもがノビノビできるまち　○才能ある若者にチャンス・夢・希望を与える ○やる気ある大学生が残るまち　○積極的に若者が外へ（海外 etc）出ていくためのサポート
安全・安心	○障がいのある方や高齢の方に対して思いやりのあるまちづくり ○安心・安全な街（食・人・水・空気）○犯罪などない安全な街　○災害に備えるまちづくり ○日本の復興のNo1の牽引役　札幌
環境	○市民が自然とふれあうまち　○自然ありながらの都市　○生物多様性が維持される ○雪を使ったエコ都市　○原発にたよらないまち　○クリーンエネルギー（太陽・雪・波）の先進地に ○新たな技術を開発して環境リーダー都市として世界に発信　○スローライフ都市宣言（特区活用）
文化・発信	○音楽とビールが似合う街　○札幌発のサブカルチャー　○ Art、Fashion の街 ○スポーツを大いに押すまち　○ウインタースポーツ　○プロの選手と交流できるまち（ファイターズ、コンサ） ○皆が観光大使　○札幌発のエンターテインメント　○“札幌のよさ”を市民全員が言えるまち
都市空間	○大きすぎず丁度良い規模の街　○拠点のアクセスを良くする ○人と自然の都心（市電・トランジットモール・自転車道）　○まちの景観、古き良きものは残してほしい ○絵に描きたくなるような街
市民自治・北海道	○市民どうしが活発に対話できる街　○市民の声が通るまち ○考え、行動し、支えあう札幌市民が暮らすまち　○いつでも、どこでも札幌を語るワールドカフェのあるまち! ○中心となって北海道全体を元気にできるまち　○北海道の index（ハブ）になれる街 ○他の地域も一緒に上げていこう

4　みんなでつくる「さっぽろ未来カフェ」プロジェクト

より多くの市民の皆さんの声を戦略ビジョン策定の議論に反映させるため、市民の皆さんが「さっぽろの未来」を語る場（ワールドカフェ）を、様々な集まりで開催してもらい、そこで話し合われたことを札幌市に報告していただきました。

平成23年10月から平成24年10月の間に、9団体により12回開催され、延べ443人が参加しました。

(1)　各プロジェクト開催概要

プロジェクト名	主催者	参加者数	テーマ
さっぽろみらいカフェ 【平成23年10月30日(日)】	さっぽろ未来カフェプロジェクト応援隊	41人	「食」「観光」「健康」「教育」「スポーツ」
さっぽろ「まちづくり」ワールドカフェ 【平成23年11月1日（火)】	ＲＳジンジャー	10人	さっぽろの良いところ、あったら良いなぁと思うもの
さっぽろ育メンワールドカフェ 【平成23年11月25日(金)】	ＮＥＣＯ塾	11人	パパだから 子どもが大好き この街が好き
さっぽろ観光ワールドカフェ 【平成23年11月28日(月)】	きたかん．Net	52人	さっぽろの観光
ソーシャル・アントレプレナーシップ・ワールドカフェ 【平成23年12月3日（土)】	㈳北海道中小企業診断士会ソーシャルビジネス研究会	35人	ソーシャル・アントレプレナーシップ（社会起業家）
女性がつくる「さっぽろ未来カフェ」 【平成23年12月4日（日)】	㈳分子整合医学美容食育協会	37人	さっぽろの食、食育について
ラーニング・カフェ 【平成24年1月11日（水)】	㈱札幌カフェ	36人	働くことの意義
女性がつくる「さっぽろ未来カフェ」vol.2 【平成24年3月3日（日)】	㈳分子整合医学美容食育協会	49人	食と健康
ソーシャル・アントレプレナーシップ・ワールドカフェⅡ 【平成24年3月24日（土)】	㈳北海道中小企業診断士会ソーシャルビジネス研究会	29人	ソーシャル・アントレプレナーシップ（社会起業家）
女性がつくる「さっぽろ未来カフェ」vol.3 【平成24年6月17日（日)】	㈳分子整合医学美容食育協会	55人	女性が楽しく生き生きできる札幌について～健康と美容～

プロジェクト名	主催者	参加者数	テーマ
English World Café in Sapporo 【平成 24 年9月2日（日)】	Team Forever （国際都市さっぽろワールドカフェ参加者有志）	50 人 （ 外国籍市民 12 人を含む ）	もし、札幌で地震が起きたらどうしたらいいの？ （日英2か国語で進行）
さっぽろ未来カフェ in 東京×札幌 【平成 24 年 10 月7日 (日)】	「さっぽろ未来カフェ in 東京×札幌」 実行委員会	【東京会場】 21 人 【札幌会場】 17 人	戻りたい札幌って、どんなまちだと思いますか？ （両会場を Ustream 中継でつなぎ同時開催）

(2) 主な意見

テーマ	主な意見
地域	○多様な人を受け入れる街、多様な人が住みたいと思う街 ○思いやりのある人たちが暮らす街さっぽろ ○弱者に優しい街 ○人とのつながりを普段から大切にする絆の深いまち ○さっぽろに住む人たちが、みんなの幸せに貢献（協力）する街 ○市民が主人公であることを大切にする街であって欲しい ○街に居る人たちが主体的に行動する街「さっぽろ」 ○人を活き活きさせる、その結果、自分も生かされる
経済	○雇用のある街であって欲しい ○雇用創出のための海外、本州企業誘致 ○チャレンジできる街、街の活性化のために起業を促進 ○北海道、札幌に住む私たちが食材の豊富さ美味しさ新鮮さに気付く ○札幌での私たちのライフスタイルが北海道・地域をエンパワメントするように ○北海道の他地域との連携で札幌がイキイキ出来る ○女性が活き活きすると新しい産業が生まれる ○おしゃれが景気を救う ○平穏、それでいて刺激的な誰でもあこがれるまち ○仕事と生活のバランスを自分らしく調整できるまち ○ Welcome U ターン。出るのを止めるのではなく、もどりやすくする
子ども・若者	○学校の先生もいろんな人と交流し視野を広げる ○学校を開放し地域コミュニティへ ○父親ネットワーク強化 ○子どもに農業体験を ○社会を担っている大人と、未来を担う若者が「つながり」を持つことが大切 ○若い世代にシゲキを
環境	○ネイチャーコンパクトシティ ○丁度よい「さっぽろ」…都会すぎず、田舎すぎず。気候に四季が感じられる。 ○クリーン感…きれいな雪、公園、自然、女性、空気、新鮮な食べ物
文化・発信	○スポーツが街の活性化のキーポイントになる ○札幌らしさはつくるものではなく、にじみ出てくるもの ○もっと札幌について学ぶ場が欲しい ○札幌はスイスみたいな国際的リゾート地になろう ○長期間滞在しても便利で楽しめる街に ○もてなしの心が必要 ○札幌暮らしの魅力をもっと発信 ○自分のマチに誇りを持っている人がたくさんいるまち

5　テーマ別ワークショップ

「市民アンケート」で重要度の高かった４テーマ（①高齢化社会に対応したまちづくり、②防災を意識したまちづくり、③未来を担う子どもたちを育むまちづくり、④環境に配慮したまちづくり）について、札幌市の取組に対する成果と課題について議論した上で、今後重点をおくべき取組を提案してもらいました。

なお、当ワークショップは行政評価制度への市民参加の促進を目的とした「市民評価」の取組と一体的に実施しました。

⑴　日時・会場

平成23年10月１日（土）、２日（日）　９時00分～16時30分

ＳＴＶ北２条ビル　６階会議室

⑵　参加者数

無作為抽出により20歳以上の市民3,000人へ参加案内を送付し、参加を希望した80人を参加者と決定し、当日の参加者は68人でした。

⑶　ワークショップの流れ

１ 札幌市の取組の成果と課題は？

６グループに分かれ、テーマに関連する札幌市の取組において、日常生活の中で成果を上げていると実感することや、成果を上げる上で課題だと思われることについて議論するとともに、市民・企業の取組の成果や課題について意見交換

↓

２ 今後、重点をおくべき取組は？

今後、札幌市や市民、企業が重点をおくべき取組について議論し、特に重要だと思う取組について、グループ内投票により取りまとめ

↓

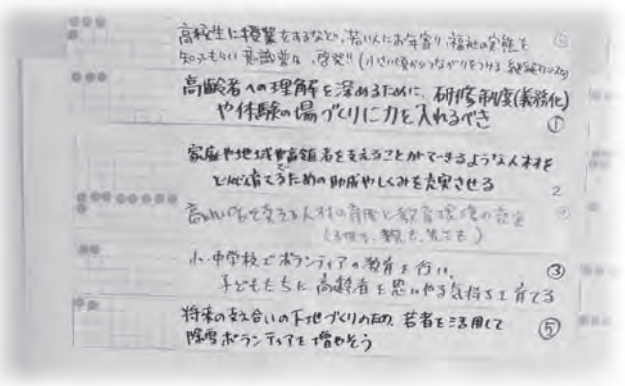
３ 全体での共有、確認

各グループで取りまとめた５つ程度の提案を発表し、参加者全員で共有した上で、類似した提案を集約し、今後重点をおくべき取組としてどの提案がより重要か、参加者全員による投票を実施

(4) テーマごとの意見

テーマ	主な意見（投票による得票数の高かった意見）
①高齢化社会に対応したまちづくり	○広報の見直しやフリーペーパーにより、ボランティアの情報発信、声かけの充実 ○家庭や近隣地域で高齢者を支えるため、また、高齢者自身のボランティアも推進するため、ボランティアのポイント制度をつくる ○高齢者を支える人材の育成と教育環境の充実（子ども、親も、先生も） ○高齢者も多世代で交流できる居場所の充実（交流の工夫、共通で一緒に楽しめる仕掛けが必要）
②防災を意識したまちづくり	○正しい情報を得る手段を確保。ラジオのチャンネルごとに流す情報を役割分担 ○家族連れや若者も楽しみながら参加できる防災イベントを企画、実施していく ○災害発生時に行政内（市、交通局、警察、消防局等）で連携を明確に!
③未来を担う子どもたちを育むまちづくり	○子どもが様々な人と触れ合うボランティア体験の場づくり（企業の協賛や市の助成など） ○札幌らしい教育。プロスポーツ、自然・農業体験。大人を見て育つ（目標・ヒーロー）→子どもが札幌に残る ○安心して子育ての相談ができるSNSのサービスがあるとよい ○家庭教育学級など親の学ぶ場を増やす
④環境に配慮したまちづくり <その1> エネルギー消費を抑えたライフスタイルへの転換	○家庭の目標値を共有化してCO_2削減をすすめる。「さっぽろエコ家族の4人世帯の利用はこれくらい」という具体的な指標を ○公共交通機関を安くして、車を使わない暮らしに!（利用料金が車利用より安く／定期券にインセンティブを。定期通勤への乗り換えを支援） ○市民が勉強する場を充実させる!
④環境に配慮したまちづくり <その2> 市民との協働のみどりづくり	○子どもの利用が少なくなった古い公園の遊具を取り払って緑化する「ひろっぱプロジェクト」により、緑に関心をよせてもらう ○家のまわりに花を植える「一軒一鉢運動」から始める。家庭に苗を配る補助や取組とあわせて行う ○空地を活用して市民農園をつくり、収穫体験や地産地消の直売所など、活性化にもつなげる







6　まち「つながる」ワークショップ

「人口減少」「超高齢社会」というかつてない時代を迎える札幌市。ご近所付き合いを始めとする地域での「つながり」が年々希薄化していると言われている一方で、誰もが住み慣れた地域で暮らしつづけるために「つながり」の必要性が強く叫ばれています。

そこで、地域のあり方、これからの「つながり」のカタチを皆さんと考えるワークショップを市内10か所で開催いたしました。

(1)　日時・参加者数

日程／時間	会　場	参加者数
平成24年3月　3日(土) 13:30～16:00	清田区民センター	19人
3月　4日(日) 13:30～16:00	南区民センター	19人
3月　5日(月) 18:30～21:00	厚別区民センター	23人
3月11日(日) 13:30～16:00	豊平区民センター	17人
3月12日(月) 18:30～21:00	中央区民センター	33人
3月18日(日) 13:30～16:00	白石区民センター	24人
3月19日(月) 18:30～21:00	西区民センター	21人
3月20日(祝) 13:30～16:00	手稲区民センター	34人
3月21日(水) 18:30～21:00	東区民センター	17人
3月22日(木) 18:30～21:00	北区民センター	21人
合計		228人

(2)　話し合いの流れ

前半（ワールドカフェ）

4人程度のテーブルごとに、メンバーを入れ替えながら下記のテーマに沿って話し合い
①まちや地域で私たちはどのようにつながっているのでしょうか?
　↓（席替え）
②まちや地域で私たちはどのようにつながっているのでしょうか?（①と同テーマ）
　↓（最初のテーブルに戻る）
③まちや地域で私たちはどうすればつながっていけるのでしょうか?

後半（テーマごとの話し合い）

前半の話し合いを踏まえ、各人がもう少し深く話してみたいテーマを出し合い、興味のあるテーマに集まったメンバーで、そのテーマについて話し合い

(3) 主な意見（キーワード）

テーマ	キーワード
人のつながり	○つながろうとする意識が必要 ○つながるためのきっかけづくりや声かけ・挨拶 ○同世代交流・異世代交流 ○役割を持つこと ○顔の見える関係
町内会	○町内会活動の重要性、若い世代の参加が必要 ○町内会に求められているものを再考 ○町内会同士の横のつながり ○回覧板の工夫でつながる ○町内会役員の若返り
きっかけ	○地域の行事、祭り等がつながるきっかけとして重要 ○子どもを通じて地域がつながる ○子ども会の役割 ○誰でも気軽に集える場づくりやサロン、コミュニティカフェ ○趣味の集まり、地域の人を講師にした講座 ○雪かきをきっかけに ○ワークショップ、しゃべり場
人材	○おせっかいおばさん ○元気高齢者の活用 ○人材（リーダー、キーマン） ○ボランティア ○学生、若者、勤労世代の参加 ○女性のパワーを活かす ○民生委員の役割
つながりのあり方	○ゆるやかなつながり、距離感 ○マンション住民のつながりのあり方 ○地縁の限界、新しいつながりの仕組みが必要 ○見守り活動における個人情報の壁
連携、発信	○NPO、大学、商店街、企業との連携 ○三位一体（家庭ー地域ー学校） ○情報共有、発信 ○ミクシィ等のSNSの活用







7　さっぽろ未来カフェin 東京

「外から見た札幌」の視点を取り入れるため、首都圏にお住まいの札幌居住経験者（札幌出身者等）を対象に、外から見た札幌の強みや、札幌が目指すべきまちづくりの方向性等について対話する場として、ワールドカフェを開催しました。

⑴　日時・会場

平成24年1月20日（金）　19時00分～21時00分　東京交通会館　3階 第1会議室B

⑵　参加者数　36人

⑶　話し合いの流れ

5人程度のテーブルごとに、メンバーを入れ替えながら、下記のテーマに沿って話し合い

①「離れて気づいた札幌の魅力やさっぽろらしさは何ですか？」

↓（席替え）

②「さっぽろ“らしさ”にどのような可能性を感じますか？」

↓（最初のテーブルに戻る）

③「わたしたちが期待する、これからの“さっぽろ”はどんなまちですか？」

↓（話し合った結果をまとめ用紙に書き出し）

全体共有

⑷　主な意見

○「可能性を感じるさっぽろ“らしさ”」（抜粋）

○バランスの取れた街　○MINI東京からの脱却　○利便性と自然を兼ね備えている点
○コンパクトで住みやすい　○サッポロはみんなの憧れ　○地下帝国
○山があり、川があり、公園等がある（誰でも入れる）　○四季がそれぞれ美しい　○冬の景色が美しい
○人がやさしい　○人との距離感が心地良い街　○街中で祭りが好き　○外からの人を受け入れる
○札幌人の新しいものを受け入れるしなやかさ　○天然ものだけで勝負している（特に食べ物）
○食ブランド◎他のモノを探す　○道民からの外への発信力が弱い
○札幌の潜在的魅力を発信していくことをもっと　○生活のクオリティが高い　○シニアに優しい
○地元雇用の創造 地場の企業　○生活環境◎雇用×
○雇用創出の一環として起業家を育てる支援をする街　○札幌が本店の会社を多くする
○農産物の加工分野が弱い　○観光誘致のためのPRをする　○札幌らしい街並みを
○本物が少ない（文化、芸術）　○多国籍かつ安全な街にし、外国人にも活性化をしてもらう
○札幌内で完結していて若者が外に出たがらない　○イベント等を軌道に乗せやすい（熱しやすい）

○「私たちが期待する、これからの“さっぽろ”」

テーマ	主な意見
都　市	○身近に感じられるまち　○スマートシティ　○本州からの移住（退職後）憧れの街にする ○東京的ではないもの　札幌らしさ?（北欧的なもの?）○北半球のハブになる様
自　然	○自然が近い
発　信	○北海道独自の発信力を持っている（東京に頼らない）　○食ではない文化を発信
札幌気質	○再開拓精神
暮らし	○道内の我々も道外の皆さんも楽しめる街　○高齢者が住み良い街 ○シニアにやさしい（特に冬の生活とか）
経　済	○地元雇用の創造　地場の企業
観　光	○別荘地として誘致　○テーマパークがほしい
創造性	○食以外の札幌発が生み出せる街　○クリエイティブ ○文化・技術で創造力と発信力のあるまち
その他	○変化じゃない変化を　○常に新しい風が流れこんでいてほしい ○いい意味で「かわらない」まち

8　国際都市さっぽろワールドカフェ

国際都市とはどのような都市か、また、札幌が国際都市を目指す上でのヒントについて、外国籍市民、日本人市民が一緒に、ワールドカフェの手法により、自由に語り合いました。

なお当ワールドカフェは、「札幌市国際戦略プラン」策定の市民参加事業と一体的に実施し、同プランへも意見が反映されています。



(1)　日時・会場

平成24年6月30日（土）14時00分～16時30分

アスティ45　16階 ACU（アキュ）大研修室

(2)　参加者数

100人（外国籍市民等36人、日本人市民64人）

(3)　話し合いの流れ

５人程度のグループに分かれ、下記のテーマについて、順次メンバーを入れ替えながら話し合い

①「あなたが思う国際都市とは？」

↓（席替え）

②「あなたが思う国際都市さっぽろとは？」

↓（最初のテーブルに戻る）

③「さっぽろが国際都市になることでどんな良い変化が生まれますか？」

↓（各自付箋に書き出し）

④「わたしたちが望むこれからの“国際都市さっぽろ”は○○なまち！」

↓（話し合った結果をまとめ用紙に書き出し）

全体共有

(4)　主な意見（わたしたちが望むこれからの“国際都市さっぽろ”）

○人が集うまち・発信のまち
○おしゃれでいき・笑顔あふれるあいさつをする・大志をいだいてクリエイティブ（宇宙規模）・新しい歴史を作るまち
○自然発生的なまち～国際都市という枠を与えられるのではなく内側から1人1人が～
○堂々たる2流国際都市
○世界中の技能者が集まり、長期滞在出来て、楽しめる街
○北海道の大自然なまち
○外国人が住みたい・訪れたいまち～国際感覚のある人々が集うまち・学びに行きたいまち・外国人が働き易いまち・世界とつながるまち～
○幸せなまち→目指せブータン・外国人が集える街、テーマがある街→ストーリー性
○住みやすいまち～人に優しいまち・ハピネスなまち～
○心の壁がないまち～ここからはじまる～

9　こどものまち「ミニさっぽろ2011」

札幌市内の小学校3・4年生が仮想の街であるミニさっぽろ市の市民となり、働くことの楽しさや苦労を体験してもらい、世の中の仕組みなどを学ぶとともに、将来の札幌市の市政の担い手として市民自治の意義について考えてもらうイベント。ビジョン策定における子ども参加の一環で、「ミニさっぽろまちづくりセンター」としてブースを出展し、子どもたちが「さっぽろプロデューサー」として、10年後のさっぽろがどんなまちになってほしいかについて考えました。



(1)　日時・会場

平成23年10月1日（土）～2日（日）
10時00分～16時00分　アクセスさっぽろ

(2)　参加者数

315人（小学校３・４年生）

(3)　実施内容

①5人ごとのグループに分かれ、札幌市を擬人化した「札幌ちゃん」のプロフィールシートを作成

・好きな食べ物（札幌の名産品など）
・好きな場所（観光スポットなど）
・特技（札幌で有名なものなど）
・チャームポイント（札幌の特徴、自慢できるところ、住民の気質など）
・ニックネーム

② ①で出された意見をもとにイメージした「札幌ちゃん」をデザインする（お絵かき）



③10年後のさっぽろがどんなまちになってほしいか、 各グループごとに検討

(4)　主な意見

地　域	○笑顔でいられる（明るい）町　○人口増加（子どもがいっぱい） ○優しい・親切な町　○仲が良い町　○お年寄りにやさしくする町
経　済	○科学・技術が進んだ町（空飛ぶ車）　○食べ物がもっと美味しくなる　○元気な町
安全・安心	○事件・事故・争いのない（平和・安全な）町　○医療が発展している ○老人ホームが増える
環　境	○自然・緑・花がいっぱい　○ごみがなくてきれいな町 ○エコ（環境に優しい・リサイクル）の町
都市空間	○歩きやすくて広い道路

10　国際交流ワールドカフェ

国際交流（姉妹都市交流など）を経験したことのある中・高生が一堂に会し、その経験を通じて得られた新たな発見や、札幌と海外の都市の違いなどを語り合ってもらう中から、国際都市さっぽろの未来を考えました。

また、この時期に札幌市内でホームステイしていたアメリカ・ポートランド市グラント高校の生徒5人も参加し、日本の中・高生との交流を図る機会となりました。

⑴　日時・会場

平成24年2月11日（土・祝）　13時00分～16時00分

ＳＴＶ北2条ビル　6階1～3号会議室

⑵　参加者数

59人（アメリカ・ポートランド市グラント高校の生徒5人を含む）

⑶　話し合いの流れ

①「海外に行ってみて、おもてなしや文化の違いなど印象的なことは何でしたか？」

↓（席替え）

②「海外と交流することでどんな良い影響が生まれますか？」

↓（最初のテーブルに戻る）

③「札幌がもっと世界とつながるには何が必要ですか？」

↓（各自付箋に書き出し）

④「未来の国際都市さっぽろは○○なまち！」

↓（話し合った結果をまとめ用紙に書き出し）

全体共有



⑷　主な意見（未来の国際都市さっぽろは○○なまち）

○留学生をたくさん受け入れる、送り出す
○外国人も住みやすい街づくり
○未来のさっぽろは「フレンドリー」なまち!
○文化／日本よりも家族や友人とのかかわりが深い。大切にしている
○おもてなし／家族の一員として扱ってくれた
○色々な国の文化を知り、外国人とふれあうことで世界への関心が深まり自分の視野が広がる
○札幌にはいっぱい外国人が来るからもっと積極的に話したり交流できるような町
○外国の友達がたくさんできるまち
○様々な外国語であふれるまち
○札幌は雪がきれいで食べ物がおいしい!町
○札幌市民が海外へより関心を持つ国際的なイベントを増やす
○壁をブチこわす（言葉・文化・法律）
○国際交流ワールドカフェや、姉妹都市や、姉妹校での提携をもっと盛んにする
○ ALT の先生を増やしたりして、国際交流の場を増やす
○住んでいる人が札幌をよく知ること
○札幌の良さを海外に発信する
○ Facebook でたくさんの人とつながる!!

11　子ども議会

平成23年度子ども議員が、いじめの起きにくい学校づくりや円山動物園の魅力向上など、４つのテーマ別委員会に分かれて札幌のまちづくりへの提案を議論したほか、ビジョン策定における子ども参加の一環として、共通テーマ「10年後の理想の札幌」について、４つの委員会ごとにキャッチフレーズを作成し、子ども議会本会議で提案して市長等と意見交換を行いました。

(1)　日時（子ども議会本会議）

平成24年１月６日（金）　13時00分～15時30分

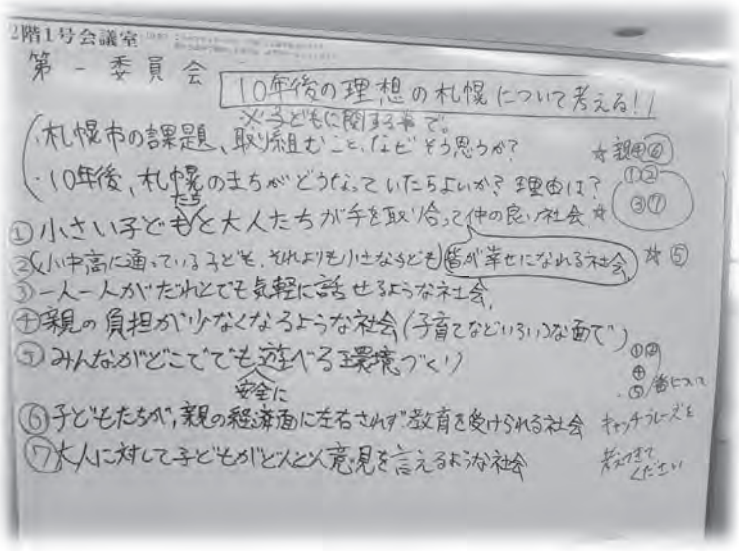
(2)　参加者数

子ども議員55人（小学５年生～高校生）

(3)　委員会の開催概要

委員会	テーマ	内　容
第1回委員会 【10月8日】	委員会分け	話し合う内容に応じた4つの委員会に分かれ、自己紹介。委員長など役割分担を決定。
第2回委員会 【10月16日】	質問リストの作成	提案したいテーマ（個別テーマ）を候補の中から絞り込み、調べたいことを検討。
第3回委員会 【10月29日】	個別テーマに関する勉強会	テーマに関係する市役所の職員を招いて、勉強会を実施。
第4回委員会 【11月5日】	共通テーマに関する勉強会	「10年後の札幌」について市長政策室の職員と勉強会を実施。
第5～6回委員会 【11月12日・19日】	提案・キャッチフレーズ作成	勉強会での話し合いを基に、札幌市に対する提案（個別テーマ）や「10年後の理想の札幌」についてのキャッチフレーズを検討。
第7～8回委員会 【12月4日・7日】	本会議の練習など	提案やキャッチフレーズの発表などの役割分担を決め、本会議の練習。





⑷ 子ども議員の考える「10年後の理想の札幌」キャッチフレーズ（要旨）

親子でSmile つくろうピース　（チェンジ☆The School委員会）

○親子が笑顔で過ごせるような環境になり、みんなで平和をつくって幸せになろう

○一人一人がパズルのピースのように協力し合い、1つの社会を作り上げ、みんなでVサインできるような札幌にしよう

○理想の札幌は、次の3つの願いが実現しているまち

・意見が言い合えるなど、子どもと大人が手を取り合える仲の良い社会

・不審者がおらず、地域の人が見守っており、みんながどこでも安全に遊べる環境

・保育園の定員を増やしたり、子どもの就学支援をしたりし、子育て・子育ちがしやすい環境

Smile and Peace inさっぽろ～One for all　All for one で グッバイ犯罪～

（札幌市民防災意識向上委員会）

○市民一人一人がみんなのことを考え、人と人が支え合うことで犯罪をなくし、札幌を笑顔であふれ、平和な街にしたい

○地域で交流を広げ、絆を深めることが、犯罪に走りそうな人を思いとどめたり、犯罪を起こしにくい環境ができる

○自分のことだけではなく、相手を思いやる気持ちを広げていくことが必要

Shuck off エゴ! Shout エコ!　（Look Back!エコの話はここからでも始められる委員会）

○自然豊かなまち、生物と共存するまち、自然エネルギーを利用するまちになってほしい

○10年後の札幌は「自然と調和し市民が快適に暮らせる生活環境が整っているまち」が目標

○私たち市民はごみ問題等身近で一人一人ができることを行い、札幌市は自然エネルギーの利用、環境の保護等の大きな目標の実現にむけてまちづくりを進める

○札幌市と市民が協力して環境にやさしく、環境を利用できるまちを目指したい

great migrate ～住みたくなる街SAPPORO～　（Welcome to 円山Zoo 委員会）

○札幌を誰もが移住したくなる素晴らしいまちにしたい

○移住した人たちが見つけた札幌の良いところなどを発信したい

○観光客や移住者の影響で札幌市の魅力が日本全体に知れ渡り、今よりもっと素晴らしい街になっていると良い





12 「児童会館・ミニ児童会館」における子どもの意見聴取

市内の各児童会館及びミニ児童会館における子ども運営委員会等で、10 年後の理想の札幌について、テーマ例（選択制）をもとに、「こうあってほしい」と思うまちの姿を話し合い、みんなで考えた「理想のまち」に向けて自分たちができることを検討してもらいました。

(1) 実施時期

平成 24 年3月～5月

(2) 参加者数

1,757 人（市内の児童会館・ミニ児童会館全館の利用者）

(3) 話し合いの流れ

①どのテーマで話し合うかを決める。

【テーマ例】
（環境）もっときれいなまちにするために
（環境）自然とふれあえるまちにするために
（環境）地球温暖化をふせぐには?
（防犯）安心して暮らせるまちにするために
（防災）大きな地震などが起きたときに、みんなが協力しあえるまちにするために
（子どもの権利）自由に意見が言い合えるまちにするために
（地域コミュニティ）お年寄りが安心して暮らせるまちにするために
（地域コミュニティ）障がいのある人が安心して暮らせるまちにするために
（国際）外国人となかよくできるまちにするために
（その他）自由テーマ

②選択したテーマにおいて、自分たちで考えた 10 年後の“理想のまち”の様子や特徴について話し合う。

③“理想のまち”に向けて自分たちで出来ることを具体的に考え、話し合う。

④話し合いの結果をまとめ用紙に記載し提出。





(4) 10 年後のさっぽろはこんなまち（多かった意見）

テーマ	主な意見
地域	○人とのつながりを大切にし、助け合うまち ○色々な人（老人・大人・子ども・障がい者・偉い人）と交流できる場所・機会 ○みんなが笑顔でやさしいまち ○国際交流・外国語表記
安全・安心	○事件・事故・犯罪のない平和なまち（防犯の強化） ○十分な防災対策（避難場所・備蓄・情報伝達）で災害に強いまち ○病院・医療・福祉の充実（健康） ○老人・弱者にやさしいまち ○バリアフリー・スロープ・手すり・エレベーターの整備
環境	○自然豊かなまち（緑・花・動物・川） ○ごみ（ポイ捨て）のないきれいなまち ○公園の整備・充実（遊具・トイレ） ○エコなまち（自然エネルギーの活用） ○空気のきれいなまち（地球温暖化防止・電気自動車） ○リサイクル（ごみ減量）
都市空間	○道路・外灯（車・自転車・歩行者）の整備 ○交通の整備 ○公共施設の整備・充実（図書館・体育館・児童会館）
その他	○科学技術の発達 ○買い物が便利 ○食の安心・安全 ○世界的に誇れる大都市に ○観光 PR・魅力あるまちづくり ○モラル・マナーの向上 ○シンボルタワーテーマパークの建設 ○お菓子でできた家・まち ○いじめ・虐待のないまち ○人口増加（子どもがたくさん） ○きれいな町並み（建物） ○通信の整備 ○音楽が流れているまち ○カラスがいないまち ○自然災害がないまち ○学校の休みを多く ○元気なまち